

# 電友会四国連合会報

第 78 号  
4. 4



## 目次

私は今.....	二
川柳.....	三
NTT情報.....	四
電話サービスマンアンケート調査結果.....	四
NTT・N響コンサートを開催.....	四
自動車・携帯電話がより便利に.....	五
電友会員用保険についてのおしらせ.....	五
テルウェルだより.....	六
余栄.....	七
表紙の言葉.....	七
敬弔.....	七
NEWS.....	七
余技作品展(香川電友会).....	七
第十一回四国交換会を開催.....	七
四国学園・研修センタの集い.....	八
ハテナ?.....	八
随筆.....	八

高市沖見 板東秀一  
渡部貞好

私は今

○ 鎌倉 則繁 (松山)

公社を退職して十七年、電友会会報の敬弔欄で、友のことなどが気になる今日この頃、家内と二人で堀江の閑居で家庭菜園とゲートボールが毎日の日課です。

三年前に体調を壊し胃の手術をしましたが、大分回復したので、余生を社会奉仕とボケ防止にと、町内会長、老人会長などの雑用を引き受け、割合多忙な日々を過ごしています。

さて、湾岸戦争、ソ連邦の解体、バブル経済の崩壊など、激動の平成三年が終わり、壬申の四年を迎えましたが、六十年前の壬申の年は昭和七年で、上海事変勃発の年であり、さらに六十年前の明治五年は廃藩置県の年で、その翌年に愛媛県が誕生しています。

申に人が加わると「伸び」に通じます。平成四年が良い意味での発展に通ずる転換期であって欲しいと願う次第です。

○ 福島 明 (松山)

退職して十年、持病のぜんそくと付き合っています。退職後から園芸を始めました。とりとめのないものばかりですが、今は数も殖え、結構楽しんでおります。

万事三日坊主の私ですが、成人病退治に力いと言われる酢大豆の常食、半身入浴、ウォーキングは不思議と続いています。

また心のよりどころにと、般若心経の写経

を始めましたが、これも続きそう、まもなく一千枚になろうとしています。

○ 西崎 勝美 (伊予)

月日の経つのは早いもので、第二の職場を退いてから七年が過ぎました。

その間、各種団体のお世話をさせていただき、結構忙しく、健康で毎日を過ごしています。

お陰様で、地域社会の人々との交流の中から、よき友を得る喜びや、諸行事を通しての楽しみなど、元気で地域のお世話ができてことを幸せに思っています。

現在は家内と二人だけの生活ですが、たまに帰って来る孫達の元気な顔を見るのが、何よりの楽しみです。

○ 長野 三郎 (今治)

十五年ほど前、胸が痛むので病院で検査の結果、狭心症と診断されました。

過激な運動は要注意のため、自宅で菊作りや草花の手入れなどで過ごしています。

地域では自治会の老人会副会長として、会の運営に微力を尽くしています。

また最近「電電今治OB友の会」の副会長として、お世話をさせてもらうことになりましたが、会員の皆様との旧交を温める機会が多くなることを楽しみにしています。

○ 田中 静子 (新居浜)

私の趣味は、書道と詩吟を主としています。

毎年、全国公募書道展に出品し、書友と受賞を喜び合い、励みにしています。

詩吟では昇段試験、競吟があり、その中である種の緊張感を自分の若返りにしています。このように平穩無事で好きなことをしていました。昨年十二月夫が病死し、この投稿依頼を受けた時は服喪中で、悲しみのどん底でした。

今は忌明けの法要もすませ、少しずつ落ち着きを取りもどし、旅行好きの夫と出かけた楽しかった頃を偲んでいる今日この頃です。

○ 塩田 勝重 (高松)

現在の生き甲斐と言えば、週二回のゴルフと、かがわ長寿大学教養講座の二回生として受講していることである。

まずゴルフはショートコースを午前中二時間半位を友人とプレーしたり、一人で回り足腰の衰え防止と楽しみを満喫しているが、平日のプレーは空いていて気分がゆったりし、肉体の健康管理に役立っている。

頭脳の方は、財団法人香川県長寿社会センター(理事長・香川県知事)主催のかがわ長寿大学教養講座を現在二回生として受講中で、三月に卒業、引き続き社会貢献の素養を培うため地域活動実践講座が新設されるので、受講しようと思っている。

教養講座の講師陣は、香川大学・四国学院大学・香川医科大学・明善短期大学の各教授を始め、四国新聞論説委員・郷土史家・随筆家等々で、大変有意義で、やわらか頭を保つよう心がけている。



○ 原 昭二郎 (高松)

先輩・同朋の皆様方には、常々お世話になり、また何かとご迷惑やお手数をおかけしておりますが、この機会に厚くお礼とともにお詫びを申し上げます。

私もまずは健康ではありませんが、ただ大分難聴にて、人様にもご不便をおかけしております。

思うことがありまして、酒・煙草を止めますます可愛げのない男になりました。

今は老妻と二人暮らしですが、孫が時々来てもみくちやにしてくれます。社労士業をしておりませんが、勿論儲けにはなりません。

○ 高島 露子 (琴平)

三年ほど前からお菓子の教室に通っている。お菓子は気まぐれだ。ちよつとしたコツが形や味を左右する。泡立ても火加減も結構気を使うし、力が要る。でも夢中で作っていると、気分は爽快、ひしひしと満足感が溢れてくる。

私はシユウクリームが大好き。ぱくりとおぼると、軽い甘さが口一杯に広がる。あ、なんて幸せ!!

季節の感覚をパンやケーキに焼き込んで、ご近所や友人におすそ分けしては喜んでいる。皆さんもお菓子はいかが?。

○ 原 重雄 (徳島)

電信電話会館を退職してからは、趣味の俳句と下手法習字に明け暮れています。年二回の徳島老人連合会の作品展と、徳島

市老連の作品展に向けて、毛筆の競書に取り組んでいます。展示会終了直後には、毎回会員を引率して小旅行を楽しんでいます。

俳句はOB会の有志で「眉秋会」を作っていますが、ほかに松苗、清風の二社にも投句したり、句会に参加したりで、結構忙しい毎日です。

健康管理は、毎朝一時間余ウオークすること、夕食時には晩酌も楽しんでいきます。

○ 山本 栄吾 (高知)

会員の皆様お元気ですか。

退職して十年があつという間に過ぎました。お陰様で大した病気もせず、毎朝・夕、犬に連れられての鏡川畔の散歩、月二・三回、釣キチ仲間との桂浜沖での船釣りなど、ボケ防止と健康維持?につとめている昨今です。

今年は高速道路も開通とのこと、温かくなつたら、東北への気ままなマイカー旅行をもくろんでいます。さてどうなることやら。皆様の多幸をお祈りいたします。

○ 森田 雪乃 (伊野)

早いもので、退職して十年が過ぎてしまいました。

四十年間の局生活で、お世話になった皆様方を思い出し、ただ感謝の気持ちで一杯です。今は健康に留意して、仁淀川の河原を三十分くらい散歩することを日課にしています。また友人と一緒にシヨッピングするのも楽しみの一つです。

これからは趣味をもち、人との出合いを大切にして、残された人生を有意義に生きたい

と願っています。

○ 土田笑美子 (土佐清水)

昨年一月、孫をだっこして庭に下りようとすべつて孫と共に転び背骨を傷めました。健康のお話の中で、長生きの秘訣は

○ 風邪をひかぬこと。

○ 転ばぬこと。(私はバツでした。)

○ くよくよイライラしないこと。だそうです。

今は何事にも気をつけ、真向法体操などをして健康管理につとめると共に、時には主人の趣味の硯作りに手を貸して、物を作る面白味も味わっています。が、何事も楽しくと心がけ健康づくりにつとめております。

川柳

佐々木 光 (枚方)



軒店で売る筍は土を添え  
散歩中の下駄とサンダル会釈する  
べからずの立札が泣く風致地区  
老妻がライター売りに出そうかと  
手づかみで食べるマナーの国が好き

森安 文子 (高松)

十八の夢いつ咲かず花鋏  
麦ごはん登校拒否の知らぬペン  
さざ波の海で泳いだ浮き袋  
二級酒にすぐ踊り出す蝶の羽根  
どの道も通つてみたい靴のひも

NTTだより

電話サービスの利用実態を聞きました  
フリーダイヤル・プッシュ回線・  
キャッチホン  
— アンケート調査結果 —

NTT四国では、四国における「電話サービスの利用実態」についてアンケート調査を行い、このほどその結果を取りまとめました。

このアンケートは、テレホン・コミュニケーションの主要ツール「フリーダイヤル」・「プッシュ回線」・「キャッチホン」について四国四県の約四百人（各県百人）を対象に調査したものです。

☆「フリーダイヤル」

『無料での注文・予約が、女性に人気』

（〇二二〇）ではじまる「フリーダイヤル」は、全体の認知度で約八七％と非常に高くなっており、男女別では、女性（約九〇％）が男性（八〇％）より約一〇％も高く、年代別では二十才代～五十才代にかけて高率となっています。

また、利用経験で見ても、女性（約七三％）の方が男性（約六一％）に比べ約一二％も多くなっています。

利用目的は、「注文・予約」（約七三％）が圧倒的に多く、次いで「問い合わせ」、「資料等の請求」の順となっており、男女別、年代別でもほぼ同様の結果となっております。

今後導入して欲しい業種では「米屋・酒屋」、「病院・診療所」、「タクシー」といった日常

— NHK交響楽団来演 —

— 瀬戸の夕べにハートフル —  
『NTT・N響コンサート』を開催

6月1日（月）

NTT松山では、6月1日（月）、NHK交響楽団を迎え、「第75回NTT・N響コンサート」を、松山市の愛媛県県民文化会館で開催します。

このコンサートは、NTTが昭和60年4月から文化活動の一環として、全国各地で行ってきたもので、レベルの高い音楽を通してコミュニケーションが、より豊かになることを願って実施するものです。

なお、今回の公演は通算75回目で、四国では5回目となります。

今回は、指揮を山下一史さん・バイオリンを堀正文さんにより、モーツァルトの「バイオリン協奏曲第5番」など3曲の演奏を予定しており、クラシックファンの皆さんはじめ、音楽愛好者の皆さんを魅了すると思います。

指揮者及びバイオリン奏者のプロフィールは、別紙のとおりです。

【「第75回NTT・N響コンサート」の概要】

主 催：NTT松山  
後 援：愛媛県、愛媛県教育委員会、松山市、松山市教育委員会、NHK松山放送局  
日 時：平成4年6月1日（月）午後6時30分～午後8時30分（予定）  
会 場：愛媛県県民文化会館  
出 演：管弦楽 NHK交響楽団、指 揮 山下 一史、バイオリン 堀 正文  
曲 目：モーツァルト 歌劇「女はみんなこうしたもの」序曲  
バイオリン協奏曲第5番イ長調K. 219  
交響曲第41番ハ長調K. 551「ジュピター」  
入場料：A席 4,000円、B席 3,000円、C席 2,000円

なお、NTT松山では、このコンサートに抽選で親子ペア50組100名（四国地域対象）の方を、無料でご招待いたします。

【「第75回NTT・N響コンサート」招待の応募方法】

募集期間：平成4年 4月 1日（水）～ 4月30日（木）  
応募方法：官製はがきに住所・氏名・年齢・電話番号と同伴されるお子さんの氏名・年齢を記入のうえ応募先に郵送願います。（当日消印有効）  
※乳幼児等就学前のお子様同伴でのお申込みは御遠慮ください。  
応募先：NTT松山 広報課「N響コンサート招待係」  
〒790 松山市一番町4-2 ☎（0899）36-2899  
当選発表：招待券の発送をもって発表に代えさせていただきます。

生活に関するものが多く、男女別でも、ほぼ同様の傾向を示しています。ただし、男性では、「官公庁」といった仕事に関する業種への希望も高くなっています。

年代別では、二十才未満・二十才代で「遊園地・レジャー施設」、「旅館・ホテル」といったレジャー関係への希望が高いのに比べ、働きざかりの四十才代では、「官公庁」への希望が高くなっています。

☆「プッシュ回線」

『ピ・ポ・パとすぐにつながって便利、女性はおしゃれ感覚で利用』

ピ・ポ・パですぐつながる「プッシュ回線」は、全体の認知度で約七九%となっており、年代別では三十才代が約八八%と最も高くなっています。

また利用動機は、「すぐにつながる」(約六七%)、「いろいろなサービスがうけられる」(二二%)といった機能性を重視しており、特に女性では男性に比べ「おしゃれだから」が非常に多く、ファッション性を重視していることがうかがわれます。

使い勝手は、「すぐにつながり便利」(七八%)とスピーディーさに満足している人が圧倒的に多く、また「いろいろなサービスがうけられ便利」、「ピポパの音が心地よい」といった機能面に満足されている人もいます。

今後の利用については、「近いうちに利用したい」、「当面予定はないがそのうち利用したい」と思っている人が全体の五〇%を超えています。女性の場合は「当面予定はないがそのうち利用したい」の比率が高く慎重な人が多いようです。

☆「キャッチホン」  
『待たせるのは気がひけるが、話し中がなくなり安心』

通話中でも他の人からの電話を受けられる「キャッチホン」は、全体の認知度で約九〇%と非常に高くなっています。

また利用動機は、「便利だから」(約七八%)という機能性を重視しており、男女別でも同様の傾向を示しています。

使い勝手は、「大事な話を逃さず便利」(約六八%)、「話し中がなくなり安心」(約六六%)と、機能面に満足されており、中でも女性の満足度が高くなっています。反面「相手を持たせ気がひける」(約二〇%)と便利さは理解しているがためらいがあることも示しています。

今後の利用意向については、男女とも「利用したい」と思っており、特に二十才代未満の世代では約七七%にもなっており、「キャッチホン」が「電話世代の必需品」としてイメージされているのがうかがえます。

大容量方式でより便利に

自動車・携帯電話が  
一層安定した通話品質に！

三月二十日(金)から

NTT四国では、三月二十日(金)、松山・高松・坂出地域の自動車・携帯電話の無線方式に四国で初めて新方式(大容量方式)を導入、現行方式(中小都市方式)との併用により、一層安定した通話品質で便利にご利用いただけるようになりました。

この新方式は、自動車・携帯電話の需要が増加したのに伴い、通話回線の不足してきた大都市地域を中心に通話回線容量の増大及び通話品質の向上を図るために全国的に導入が進められているものです。

新方式では、通話回線の容量が現行方式(最大三十二回線)に比べて約七倍(最大二百十五回線)となり、通話回線の一層の確保が図られます。

また、サービスエリアの半径を現行方式の約十〜二十kmに対して、約三kmと大幅に狭め基地局数を増やすことにより、山影やビルの谷間など電波の弱い地域をカバーし、さらに良好で均質化した通話品質が得られます。

NTT四国では、今後もより多くのお客様により便利にご利用いただくため、自動車・携帯電話のサービスエリア拡大、通話品質の改善を図るなど、サービス向上に努めていきたいと考えています。

電友会員用保険についてのお知らせ

○ 生命・傷害セット保険(契約随時)のお問い合わせ先は、松山市の安田火災愛媛支店(〇八九九一四三一―二九九)となっておりますが、おかけになる場合はコレクトコール(通話料金相手払)のご利用をおすすめします。

利用方法は、局番なしで一〇六をダイヤルし、NTTの交換係が出たら、前記の番号を告げ、接いでもらって下さい。

○ 団体傷害保険は、さる二月十五日をもって締め切られました。七月頃、今春のNTT退職者を対象に勧誘(十月一日より来年

四月一日の半年分)される予定ですので、契約ご希望の方は、その頃各県事務局で用紙を貰って下さい。

テルウェルだより

テルウェル創立四十周年を記念  
四国各県の身障者授産施設等へ  
自動三輪車五台を寄贈

テルウェルの社会福祉事業の一環として、本部において昭和六十年に創立三十周年を記念して創設された「社会福祉事業基金」一億五千万の運用益で、毎年全国の特定地域の福祉施設等への助成事業を行っていますが、本年は創立四十周年ということで、基金も一億五千万円を追加、三億円として、全国的に助成を行うことになりました。

四国支部でも、各県下の福祉施設へ総額百六十万円の助成を行うこととし、次の身障者授産施設等に自動三輪車(マイピア)五台を支部長、各営業所長から寄贈、福祉施設の関係者から「身障者の機能回復や軽量の荷物運搬等に役立ちます。」と大変感謝されました。

(愛媛県)

● 重度身体障害者授産施設

「東予希望の家」(東予市)

● 特別養護老人ホーム(分室) (分室)

「久万の里」(上浮穴郡久万町)

(香川県)

● 重度身体障害者授産施設

「朝日園」(木田郡三木町)

(徳島県)

● 重度身体障害者授産施設

「眉山園」(徳島市)

(高知県)

● 身体障害者通所授産施設

「高知市障害者福祉センター」

(高知市)

四県の退職者サロン

OBの方々に好評

平成三年十二月十八日、高知市内にNTT OBサロン「おびやまち」が開設されたことにより、四県四か所の退職者サロンがそろい、地域のOBの方々の憩いの場として大変喜ばれ、その利用も増えつつありますが、NTTから全面的にその運営を委託されているテルウェルとしても、よりいっそう多くの方に利用していただけるよう、サービスの充実に努めているところです。

ちなみに、四県の退職者サロンの設置場所等は次のとおりです。

なお、四県とも、女性の受付者が配置され、湯茶等のサービスを行っています。

● お問い合わせは、支部福祉センターか各営業所へ――

○ 愛媛・NTT OBサロン「かつやま」

松山市松前町二一八―二(山ともがき並)

○ 香川・NTT OBサロン「たまも」

高松市内町一―一

○ 徳島・NTT OBサロン「びざん」

(NTT高松支店北ビル)

○ 徳島市・NTT OBサロン「びざん」

徳島市中徳島町一―九

○ 高知・NTT OBサロン「おびやまち」

(NTT中徳島社宅)

(NTT高知支店中ビル)

ボランティアNTT高松OB会が

NTTボックス公衆電話を清掃

寒風が吹きすさぶ一月十七日の午後、ボランティア高松OB会の会員十四名が、NTT高松支店の指導・後援を受けて、テルウェル香川営業所の周辺からJR高松駅前・玉藻公園北側に設置されているボックス公衆電話二十五台を三班に分かれてウォッシングし、ボックス内のピンクピラ除去と清掃を行い、合わせて通話機能の作動点検を行いました。当初は寒空の下、こわばる手つきで作業を行っていましたが、終わる頃には少し汗ばむほどで、NTTから感謝とねぎらいの言葉をいただき、さわやかな一日を過ごしました。

なお、同日午前中は、NTT OBサロン「たまも」で、会員から収集した古切手の整理を行い、整理した古切手は日本の切手が二千六百二十枚、外国切手が九十五枚、新品の日本の切手が百枚と大変な数で、午後の活動と合わせて、丸一日のボランティア活動となりました。

ご存知ですか

「あんしんLINE」サービス

テルウェルでは、NTTがNTT・NTTグループ企業の社員とその家族等の皆さまのために設置した、老親介護・育児相談センター「あんしんLINE」のサービス業務をお請けし、昨年七月から主任ソーシャルワーカーを始めとする専門スタッフを配置し、各種のご相談をフリーダイヤルでお受けしております。

・電話番号は、フリーダイヤル  
0120-465192

・相談時間は、毎週月曜日から金曜日(祝日を除く)の午前九時から午後四時まで

・サービス内容(情報提供)は、  
(1)社会福祉施設の案内

・養護老人ホーム・老人福祉センター・  
ショートステイ施設 等

(2)老人病院の案内

(3)老人保健施設の案内

(4)ホームヘルパーの派遣窓口の案内

(5)テルウェルの各種サービスの案内および  
ケースワーカーの紹介

(6)ソーシャルワーカー等の紹介

(7)介護用具等の販売・レンタル業者の案内

(8)保育園・託児所の案内

(9)前記に関する相談・助言  
——お気軽にご利用ください——

余 栄 (死亡順)

正七位勲六等瑞宝章

故 中山 三郎様 (松山)

正七位勲六等瑞宝章  
故 藤原 重明様 (松山)

従五位勲五等瑞宝章  
故 白石 典久様 (松山)

正六位勲五等旭日章  
故 成川玄二郎様 (松山)

正六位  
故 小林 俊雄様 (今治)

表紙の言葉

カトレア

莊野 丹 秀 (内海)

春蘭が楚々たる中国美人なら、カトレアは  
それこそクレオパトラか、フラメンコを踊る、  
瞳の大きい唇の紅い女達だ。

モチーフとしては、いかにも洋画に相応し  
いものだが、私はこのカトレアが好きである。  
現代はいろいろと、本当に美しい種類がづく  
り出されている。

敬 弔

次の方々が逝去されました。謹んで哀  
悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

氏 名	死亡年月日	享年	所 属
増田美智子様	3.12.28	五九	徳島
山口豊重様	4.1.5	七〇	松山
成川玄二郎様	4.1.12	八三	松山
石田幸盛様	4.1.14	六一	高松
水口村太郎様	4.1.18	八三	伊予
小林俊雄様	4.1.24	七五	今治
後安良助様	4.1.29	七八	宇和島
志賀松利光様	4.1.30	六九	高松
藤岡定義様	4.2.1	六四	松山
辻本奈良雄様	4.2.2	八〇	徳島
渡部光男様	4.2.18	七〇	松山
原岡義行様	4.2.26	七九	松山
新居吉光様	4.2.26	六五	徳島
明智弘四様	4.3.12	七一	松山
白川利明様	4.3.14	六三	松山

NEWS

余技作品展開催のおしらせ

(香川電友会)

香川電友会では、OB有志による余技作品  
展を次により開催し、多数のご来場をお待ち  
しております。

○開催日時 五月二十日(同二十四日)

(十時～十八時)

○開催場所 四電プラザ

(高松市丸亀町一―二)

第十一回四国交換会を開催

四国管内の電気通信交換技術の経験者の集  
いである四国交換会(仲神会長)が、百三十  
三名の会員参加のもとに、去る一月十七日(金  
午後六時から、NTTプラザ松山において開  
催された。

OB会員は現在、愛媛百五十名、香川七十  
四名、徳島四十名、高知三十六名の合計三百  
名にのぼっているが、寒い折とて、当日の参  
加者は二十五名であった。(愛媛十九名、香川  
四名、徳島一名、高知一名)

この会は、会員相互の意見交流と親睦を  
図るとともに、交換技術の発展とNTT事業の  
円滑な運営に寄与するのが趣旨で、毎年一回  
定例的に開催されているが、今回が十一回目  
となっている。

特に今回は、千葉NTT四国支社長も出席  
され、体験を交え、時宜を得た講話をいた  
いた後、OB代表として、菅優氏が昔の思い

出の中から、小松島局長時代のベストサービ  
 スの紹介等が話された。  
 その後懇親会に入り、先輩・後輩の絆を強  
 め合い、盛会裡に二時間余の会を終えた。

四国学園・研修センタの集い

四国電気通信学園が発足したのは昭和二十  
 七年、その後電電公社が民営化されて、四国  
 研修センタと改称、さらに昨年三月には松山  
 研修センタとなった。この間の四十年間に在  
 勤し、OBとなった松山に在住している者は、  
 総勢百四十名にのぼるが、去る一月二十五日、  
 NTTプラザ松山にOB六十七名、現役十二  
 名が集まり、初めて親睦の集いをもった。  
 集いの冒頭、発起人木原峰義氏（第七代学  
 園長）、永井周治氏（松山研修センタ所長）か  
 ら挨拶があり、そのあと毎年一回開催してい  
 くうえで、代表者として磯岡芳明氏（第十一  
 代学園長）が選出された。  
 続いて松山研修センタの現状、NTT通信  
 料金などの説明を交えつつ、久しぶりに会っ  
 た懐かしい顔ぶれの思い出話に花が咲いた。  
 二時間余の昼食を中心とした集いだったが、  
 次回健康で再会を約し合いながら散会した。  
 （松山・穴吹義教記）

ハテナ？



春のおとずれとともに  
 心のふるさと・霊場巡り

もふえることでしょうか。  
 さて、次のお寺の正し  
 い読みかたは？

（全て下段が正解）

- 門野島戸国佐間山松条
- 鳴板小松(室)南土三松小西
- 寺音
- ① 霊山寺
- ③ 金山寺
- ⑯ 立江寺
- ⑳ 最御崎寺
- ㉕ 津照寺
- ㉓ 禅峰寺
- ㉔ 青龍寺
- ㉒ 仏木寺
- ④② 円明寺
- ⑤③ 円祥寺
- ⑥① 香吉寺
- ⑥③ 吉祥寺
- ⑥⑧ 神恵院

随筆

靖国神社に詣でて

高市 沖見（松山）

平成四年二月三日、午後開かれる会議まで  
 の僅かな時間を利用して、不馴れな地下鉄を  
 乗り継ぎ乗り換え、四十年ぶりで二度目の靖  
 国神社参拝をした。

おとといの大雪で九段坂は真っ白、しかも  
 凍結している。歌の文句ではないが、天を突  
 くような大鳥居をくぐり、大村益次郎（明治  
 軍制の創始者）像を横に見ながら、滑らない  
 ように小股で、しかも急ぎ足で登る。

神前に額ずき、若くして戦陣に散った友人

を始め多くの戦没者の方々の、御霊の安らか  
 ならむことを、ひたすら祈念申し上げたが、  
 もう二度とお参りすることもないかもしれない  
 と思うと、感慨もひとしおである。  
 宮居を後にし、境内を散策中、大額の「出  
 征」の手記がふと目に留まった。

出征

○海軍二等飛行兵曹 大和昭五（十七才・栃木県）  
 昭五 出征に際し、靖国神社に部隊参拝に  
 上京す。

式後 自由時間あり、姉ソノ子宅を訪問。  
 昭和十九年十月十三日

若き身に 尊き任務いただきて  
 散りにし時ぞ 心安けき

○海軍上等水兵 梅村清次（二十三歳・愛知県）  
 自分の戦死後、別に言い残すことなし、こ  
 の世に生をうけてより二十有余年の永き間、  
 大恩を受け、何ら報いず死する不孝をお許し  
 下さい。

妹へ よく父母の命にしたがい、自分と一  
 人分の孝養を頼む。

父上 母上 妹の幸福を祈る さようなら。

君が為 何か惜しまむ若桜

散ってかひある 命なりせば

同じ世代の私は、読むうちに、人前も憚ら  
 ず、ハラハラと落つる涙を禁じ得なかった。

思えば、私が日本を後にしたのは二十二才、  
 梅村さんに似た手紙を、両親・弟妹に送った

（着いたかどうかわからないが）ことなどを思  
 い出しながらも、若冠十七才や二十三才のお



二人の崇高な愛国心と孝心の程に、ただただ頭が下がり、心打たれるものを覚えた。涙を拭き拭き下りかけたが、忘却するは残念と急ぎ踵を返し、手記を認めた次第である。今日、日本は平和で、恵まれ過ぎる程に恵まれ、飽食と言われる程生活も豊かであるが、反面、眉を顰めることの多い世相でもある。折に触れ、手記の心情を想起してほしいもの。

喜寿を越えて

板 東 秀 一 (徳島)



『時』というものは誰が刻むのだろう。人はこの世に生まれ出て、様々の人生模様を描き、そしてまた永遠の彼方に去って行く。今もし時というものが無ければ、生きとし生けるものはいつまでも生き続けるのだろうか？

過ぎ去った時間は無限に早く、いつの間にか七十八歳の中に居る、という心境である。大阪中電を振出しに、転勤すること六回。戦争中はたまたま大阪東成区役所片江出張所長として城内二万人余の市民生活の安定のために微力を尽くしたが、また幾多の苦難にも遭遇したが、振り返ってみれば皆懐かしい思い出である。

わが人生の起伏をグラフに描くとすれば上下に多少の振れもあるが、まあ横一線の形であろうと思っている。この長丁場を健康で事もなく乗り切り得たとなれば、我ながら誉めてやってもよいと思っている。だがこれが

らの人生はまたむづかしい。時のネジの巻き方さんにお願いたしたい。あまり強く巻かれると時の刻みも早くなる、となればこちらの息が続かない、ほどほどに優しく、いたわりながら巻いて欲しいと念じている次第である。

奇妙な立場

渡 部 貞 好 (松山)

寒くてもお天気が良いと、午後はできる限り外を歩くようにしている。その日もかなり歩き疲れて家の近くの団地まで帰った時、「あっ、小父さんだ。手伝って、早く早く」と顔見知りの少女が、飛び出してきた私の手を取り、路地奥の家の前まで私を引っ張りこんだ。

この少女は、名前も、家も、家庭も全く知らないが、低いブロック塀越しに、道から庭に居る私によく声をかけてくれる、小学校高学年と思われるお子さんである。

咄嗟のことに驚き訳を聞くと「同級生の友達にこれをあげたいの。お願い、手伝って。」と言い、今日が好意を寄せる相手に、女性からチョコレートを贈る「バレンタインデー」だとのこと。少女は少年に贈る綺麗な包みを大事そうに用意していた。何回も少年を呼んでいるが、留守ではないのに出てきてくれな

いと言う。延ばし始めた許りの髪を後ろで二つに分けて固く縛り、上気した頬に血を浮かせ、黒い瞳が燃えるように生き生きと輝いている。そんな真剣な少女の熱気に圧倒されて、私は深い考えもなく、その家の玄関の呼鈴を押しした。

扉が開かれ、母親らしい病弱気に見える三十歳半ばの女性が出し、少女と私を不審気に交互に見つめる。私は誠に奇妙な自分の立場にハット気がつき、クドクドと成り行きを説明した。納得はできぬが事情は判ったと言う様子で、女性は扉の中に消えた。息子を呼びに？ 再び扉があき、「子供は出ないと言います。」と、気の毒そうに少女に頭を下げた。一瞬間を曇らせたが少女は、「これを渡して。」と包みを母親の手に載せ、「サヨナラ」と身を翻して自転車に飛び乗り、風のように去った。主役のいない舞台の道化役者じみた私も、一札して家を後にした。「少女よ、君の好意が判らぬ腑抜け野郎なんか相手にするな。」と独りつぶやきながら。私はこんな妙な立場に生まれて初めて遭った。皆さん、こんな間の抜けた私をどう思いますか。

投 稿 規 定

- 一 会員消息 四〇〇字以内
- 二 短歌、俳句、川柳 五首又は五句以内
- 三 随筆、随想 六〇〇字以内
- 原稿締切 五月二〇日
- 字数はなるべくお守りください。
- 原稿の取扱いについてはお任せ願います。

電友会四国連合会会報 第七八号  
平成四年四月一日発行

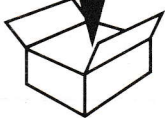
編集発行 電友会四国連合会  
事務局

松山市一番町四一三(千七九〇)  
NTT四国支社内  
電話(〇八九九)三六一二〇二三  
印刷 四国電話印刷株式会社

電話のひっこし **116**。  
 ついでにプッシュ回線。  
 キヤッチホン。

電話のひっこし、お早めに。  
 局番なしの

**116**



→ ひっこしついでにベンリです。



**キヤッチホン**

電話のフックボタンをワンタッチ。お話し中にかかってきた別の電話を逃さず受けられます。しかも、現在ご利用中の電話機を取替える必要もありません。使用料は月々300円、工事費は不要です。\*一部ご利用にならない地域があります。



そのうえセットなら月々50円割引!



**プッシュ回線**

ダイヤル回線にくらべて相手とつながる速度が速く、伝言ダイヤルやコダイヤルなどいろいろなサービスが便利に利用できるプッシュ回線。使用料は月々390円(短縮ダイヤル付:990円)、電話移転の際は工事費無料です。(工事費2,000円)

\*上記の金額に消費税は含まれておりません。